

宮原耕治会長 閉会あいさつ

最重要目標は海の日を7月20日に戻すこと

先ほど(の役員改選で)大任を賜りました。ご多用のなか総会出席ありがとうございます。当懇話会は2年前の2016年に衛藤先生、高木先生など13人の発起人で呼び掛けて、現在会員数236人、賛助会員12社で、まだまだ「on the way」で500人の会員を目指していきたいと思います。衛藤先生から海事振興連盟との連携、3枚のチャートのなかの一つだというお話をいただきました。われわれ懇話会の活動を、海洋立国のために進めてまいりたい。

今年度の活動は、すでに承認されましたが、一言でいえば、わが国が海洋立国であるという認識を、さらに国民のなかに周知徹底させることでもあります。その最重要目標が、7月20日に「海の日」を戻していくことであると思います。もともと祝日化の時「国民がこぞって海の恩恵に感謝する日」であり、海洋立国として、さらに発展するため誓いを立て、新たにすることでした。海の日をナショナルホリデーにしている国は世界広しといえども、唯一日本だけです。

さらに、この国の発展を目指していくため、海洋立国として諸々の施策、活動を充実させていかななくてはならないと思います。この後、海洋を巡る諸課題については、内閣府総合海洋政策推進事務局の羽尾一郎事務局長からお話をさせていただきます。

最後に本会のますますの発展と皆様のご健勝を祈念いたします。